

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

| | | | | | |
|------|---------------------|-----|-------|-------------------|--|
| 法人名 | 社会福祉法人 協立いつくしみの会 | 代表者 | 石山 建治 | 法人・ 事業所 の特徴 | サービス付き高齢者向け住宅とデイサービスを併設し、木のぬくもりのある家庭的な雰囲気の建物です。 個人に合わせた食事形態やカロリー、塩分、カリウム制限など健康に配慮しながら食事を楽しんでいただいています。認知症になっても一人ひとりに合わせ工夫しながらできることを提供し、レクリエーションや体操に取り組んでいます。 |
| 事業所名 | 小規模多機能ホーム かりふ | 管理者 | 松田 梨香 | | |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|----|
| | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|-------------------------|-------------------------------------|--|--|--------------------------------------|
| A. 事業所自己評価の確認 | | | 職員による情報共有の仕方など具体的に記載されておりわかりやすかった。「できること」だけでなく「出来ていない点」にもきちんと着目されていた | |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | | | コロナウイルス対応が必要な中で家族や地域の方にもわかるような新聞があり、とても良い。利用者が楽しんで過ごしている様子が伝わる | |
| C. 事業所と地域のかかわり | 利用者や家族・来客者にきちんと挨拶する | 利用者、家族、来客者への挨拶を実施している | コロナウイルス対応の中、イベントなどは難しと思うが、その中でも取り組めることをしていると思った。 | 運営推進会議報告や事業所新聞で利用者さんの様子をご家族や地域に伝えていく |
| D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | 職員がぽろかカフェの運営にも関わりながら地域とのつながり作りをしていく | 持ち回りで、ぽろかカフェの企画、運営をしながら参加者との交流を行ってきた。2020年3月より新型コロナウイルス感染防止から中止している。 | コロナウイルス対応で、カフェ運営、地域交流は難しい状況下ですね | |
| E. 運営推進会議を活かした取組み | | | とてもわかりやすい記載でした | |

| | | | | |
|--------------------|---|---|---|------------------------------|
| F. 事業所の 防災・災害対策 | 昨年、地震後の停電の振り返りか 必要な防災備品が何かを検討し 購入していく | 必要物品を検討し、非常食や水、 ランタン、携帯充電器、カセット コンロストーブなど買い足した。 | 非常食や水などは事前に用意す ることが大事なので、参考にさせ てもらいたい | 避難訓練だけでなく、地震や風水 害の訓練を実施する |
|--------------------|---|---|---|------------------------------|

